

～地域が学生を育て、学生が地域を元気にする～

# 荒町・連坊・東北学院大学通信

**令**和5年4月の東北学院大学五橋キャンパス開学に向けて、荒町・連坊地域と東北学院大学による連携・協働の取り組み等について、地域のみなさまにお知らせする地域だより「荒町・連坊・東北学院大学通信」の第4号をお届けします。今回は、4月1日（土）に開催予定の「五橋キャンパス地域開放プログラム」のご案内や、「五橋キャンパス開学記念フラッグ・タペストリー」などについてお知らせします。

4

## 五橋キャンパス開学記念フラッグ・タペストリー！

**東**北学院大学五橋キャンパス開学を記念して、荒町地区連合町内会、連坊地区町内会連合会、荒町商店街振興組合、連坊商興会、むにゃむにゃ通り商店街商興会と若林区役所との連名で「記念フラッグ・タペストリー」を掲示いたします。

基本デザインは、東北学院大学書道研究部のみなさんに考えていただきました。デザインを担当してくれた文学部歴史学科1年生の相澤さんは「出来るだけ完成形を想像しやすいようにと考え、案を出す時点でも丁寧に文字を書くように努めました。より多くの地域の方が本学、そして五橋キャンパスに対し親しみを持っていただければとても嬉しいです。新設の学部ができた事でこれまで以上に学生の人数も増えるため、より活気のある学生生活が送れることを期待しています。そして周囲の地域全体も五橋キャンパス開学によって、より活気溢れる街になることを期待しています。」と熱い思いを伝えてくれました。



デザインを担当してくれた東北学院大学書道研究部の活動の様子



フラッグ (W500mm×H800mm)



タペストリー (W300mm×H450mm)

記念フラッグは、五橋駅前交差点周辺から宮城県仙台第一高等学校周辺までの連坊小路線の街路灯計37カ所に掲示し、記念タペストリーは荒町地区連合町内会、荒町商店街振興組合のみなさんにご協力いただき、七十七銀行荒町支店から荒町商店街沿いの荒井・荒町線等に、約200枚掲示します。

期間は3月から5月頃を予定。若林区初の総合大学となる大学・学生の新しい門出を、みんなでお祝いしましょう。



## Date fm×東北学院大学

### 「五橋キャンパス調査隊」による新キャンパス案内！



地域連携の拠点となる「未来の扉センター」内

**東**北学院大学とDate fmがタッグを組み、令和4年4月より、2か月に一度放送されてきたラジオ番組「東北学院大学のこの枠もちっちゃいます！」。最終回（第6回）が、2月12日（日）に放送されました。番組内企画「五橋キャンパス調査隊」では、「むにゃむにゃ通り商店街」のマスコットキャラクターである「むにゃむにゃ君」をゲストに迎え、五橋新キャンパスをご案内。「未来の扉センター」やカフェ「È PRONTO(エプロント)東北学院大学五橋キャンパス店」など、地域のみなさんも利用できる施設等について紹介してくれていました。

毎回楽しく、荒町・連坊地区のホットな情報を届けてくれた東北学院大学放送会のみなさん、ありがとうございました。今後のご活躍を応援しています！

# 東北学院大学五橋キャンパス地域開放プログラム！

- 開会あいさつ 東北学院大学 学長 大西 晴樹 氏
- 祝辞 仙台市若林区長 佐々木 淳一
- 「東北学院大学と仙台市若林区との連携協力に関する協定」締結式
- 学長鼎談「学生が街にもたらす効果と地域との共生」  
仙台市若林区長 佐々木 淳一  
シンガーソングライター さとう 宗幸 氏
- 施設見学（マップを参照しながら自由散策）

R5.4.1 (土)  
13:30-16:00

五橋キャンパス  
押川記念館2Fホール

いよいよ開学する東北学院大学五橋キャンパス。東北学院大学から、地域のみなさまに向けた「地域開放プログラム」の開催についてご案内をいただきました。

プログラムでは、今後の地学連携の推進を目的とした、大学と若林区役所との連携協力協定締結式の他、シンガーソングライターで東北学院大学卒業生のさとう宗幸氏をゲストに迎えた学長、区長との鼎談なども予定されています。キャンパス内を自由に見学できる時間も用意されているようです。

この機会に、ぜひ一緒に、できたてホヤホヤの新キャンパスを訪問してみたいはいかがでしょうか？



※申込み不要・直接会場にお越しください。 ※入場無料

「東北学院大学五橋キャンパス地域開放プログラム」についてお問合せ先：東北学院大学地域連携課 022-354-8140

## 「荒町すまいる食堂」×東北学院大学生ボランティア第3弾！



今回参加してくれた学生のみなさん

年 が明けて初めて開催された「荒町すまいる食堂」（1月21日（土））の様子をレポートします。今回も東北学院大学のボランティアサークル「セツルメント会」から、7名の学生が参加してくれました。メニューは、みんな大好きカレーライスとワンタン鶏ミンチスープ、プリンです。

初めて参加した学生も、これまで参加したことがある学生も、スタッフのみなさんと和気あいあいと調理していました。学生たちは、野菜の切り方や「じゃがいもなどが煮崩れないよう、煮込むときに少し味付けしておいた方がいい」など、料理のヒントを教えてくださいました。一人暮らしの料理でも役立つそうですね。

参加した教養学部地域構想学科2年生の早坂さんは「今回、主婦の家庭料理の知恵を教えてもらうことができ勉強になった。みなさんにもおいしく食べてもらえたと思う」と、法学部法律学科1年生の星さんは「いろんな方と交流しながら料理ができて楽しい。子どもたちも喜んでくれていてうれしい」とコメントを寄せてくれました。次回は3月18日（土）の開催予定、メニューはチラシ寿司と桜餅だそうです。楽しみです。



学生たちもちろん大好き！



カレーづくりに奮闘中の学生たち

●令和5年2月発行 ●発行/編集：若林区役所まちづくり推進課

●お問合せ：若林区地域力推進担当 022-282-1257